

かんきょうがくしゅうじゅく

環境楽習塾を開催しました

れいわ ねんど だい かいかんきょうがくしゅうじゅく かいさい
令和5年度の第2回環境楽習塾を開催
しました。

がつ にち ど は 『里山とふれ合おう』
をテーマに、久々利にある我田の森で里山
散策や、丸太切りとオリジナルの箸づくり
を体験をしました。

こうし は とくていひ えいりかつどうほうじん き もり
講師は、特定非営利活動法人ぎふ木と森
の学校の片岡伸輔理事長です。



こうざ はじめ は、日本の森林の状況や
森林の区分について学びました。

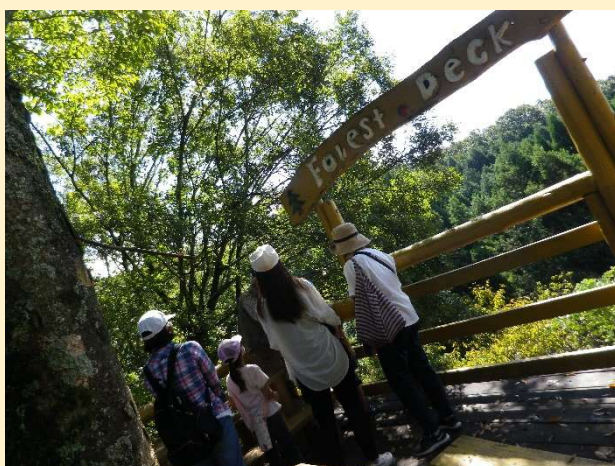
日本の森林は、国土の約7割が森林です
が、国内で使われる木材の半分以上は海外
から輸入しているそうです。

日本にはたくさんの木が育っていますが、
人の手で山をしっかりと管理しないと木
がやせ細り、土砂災害の原因にもなること
を知りました。

ざがく あと わがた もり さとやまさんさく
座学の後、我田の森の里山散策をしました。散策の初め、人工林の林の中でスギとヒ
ノキの葉っぱの違いを見て、どちらがスギかヒノキかの見分け方を学びました。

また、散策の途中、里山クラブ可児の皆さんが我田の森に整備した池や田畑、休憩施設
などの見学もしました。

さんかしゃ ほとんどの方が初めて我田の森を訪れ、散策を楽しんでいました。





里山散策の後は丸太切り体験をしました。切る丸太は直径が8cmほどの細い木でしたが、ノコギリで切るのは簡単ではなく、家族で助け合いながら丸太を切っていました。

初めてノコギリを扱う小学生もいましたが、最後まで自分の手で丸太を切った時の達成感を味わうと、もう1回チャレンジする子もいました。

最後にオリジナルの箸づくり体験をしました。予めカットされた木を使って、自分の好きな長さに切り、小刀や小さなカンナ、紙ヤスリで角を削りながら使いやすい細さに調節しました。

形が整ったら、箸に米油を染み込ませて乾かし、最後に箸の頭に模様の付いた糸を巻いて飾り付けをして完成させました。マイ箸として使うのを楽しみにしていました。



【参加者の声】

- ・山の散策をしながら、自然に触れて楽しく過ごせました。
- ・丸太切りをしたのは初めてだったので、子どもは貴重な体験ができたと思います。
- ・楽しく箸を作ることができました。
- ・楽しかった！
- ・地元の自然にふれあうことができ、楽しかったです。
- ・ヒノキのにおいにいやされました。

